

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 南 裕月

## 1\_はじめに

私は、英語を身につけることで様々な人とコミュニケーションをとれるようになりたいという思いから、本学の国際交流基金の助成を活用し、短期語学留学することを決意しました。今回、2025年2月23日から3月23日の4週間イギリスのブライトンの語学学校に通って語学研修を受けるとともに、研修以外の経験や多くの国籍の人々との交流を通じて、異文化への理解、背景の異なる人々とのコミュニケーションといった貴重な体験ができましたので、それらについて報告させていただきます。

## 2\_語学研修

語学学校のクラスは細かく分けられており、1クラス約15人で構成されていました。そのため、生徒と先生との距離が近いように感じました。私のクラスに在籍していた生徒の国籍は、フランス、イタリア、ドイツ、スイス、サウジアラビア、日本でした。授業は、テキストを活用しながら行い、その内容は、文法、スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングなど多岐にわたり、様々なことを学ぶことができました。また、ペアワークやグループワークが多く、積極的に英語を話すことで、英語を話す能力が身についたと思いましたが、クラスメートと仲良くなるきっかけにもなりました。

## 3\_語学研修以外の経験

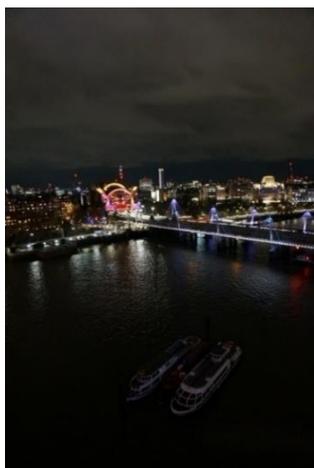
生活の面では、初めの2週間はホームステイでしたが、ホームステイ先の環境があまり良くなかったため、後半の2週間は学生寮への滞在に変更しました。学生寮に移ってからの生活は快適でした。寮にはキッチンがあり、好きなものを自分たちで作ることができ、サウジアラビアの伝統料理に挑戦したり、イタリア人が作ったカルボナーラを分けてもらったり、また、中国人の友達に中国語を教えてもらったりと多くの国の人々と関わり、異なる文化に触れることができ、楽しかったですしとても良い経験になりました。また、学校の初日にできたフランス人、中国人、日本人の友達と指定されたエリアで一ヶ月間使える乗り放題のバス定期を購入しました。これは、ブライトンでは基本的な移動方法はバスであることを事前に調べていたためでした。実は、この移動の容易さも私が留学先をブライトンに決めた一つの理由でもありました。実際にこの定期を利用して気軽にいろいろなところに行くことができました。

正直、ホームステイはしんどい経験でしたが、寮での快適な生活やバスでの移動といった生活面の充実も留学にとっては重要な点だと感じました。

日々の生活以外にも、様々な経験ができました。土曜日、日曜日の休日は、電車でロンドンを訪れ、ビッグベンを見たり、ロンドン・アイに乗ったり、衛兵交代式を見学したりしました。



ビッグベン



ロンドン・アイからの夜景



衛兵交代

ブライトンのフットボールゲームの観戦にも行きました。日本代表の三苫選手を見ることができました。また、試合が接戦だったため盛り上がりがすごく、とても楽しめました。



ブライトンのフットボールゲーム

劇場でミュージカルのハミルトンを観たり、ボーリングやテニスをしたりもしました。



ロンドンのヴィクトリア宮殿劇場



ボーリング

#### 4\_最後に

今回の留学を通して、英語を話せるようになりたいという思いがより一層強くなりました。また、異なる文化的背景を持つ人達と触れ、それらの人々の多くが、日本に対してよい印象を持っていることを知れて、改めて日本の良さに気づくこともできました。今回は、言葉がうまく通じなくても、コミュニケーションをとりあえたのは収穫でしたし、それに大路てくれた友達に感謝していますが、これからはもっと積極的に英語に触れ、勉強し、今回できた友達と円滑にコミュニケーションがとれるようになりたいと強く思います。以前の私は、英語に対して苦手意識が強く勉強が苦痛でしたが、コミュニケーションをとることの楽しさを知った今では積極的に英語を勉強したいと思えるようになりました。

